



校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校  
学校だより 第66号  
文責 校長 西村羊治

HPQRコード 令和7年1月24日

## お金の勉強

「日本のお金の種類はいくつあると思いますか?」「8種類、9種類、10種類」正解は「10種類で~す!」「やった~!」行員さんの慣れたご指導で、子ども達が乗ってきます。「1円、5円、10円、50円、100円、500円、1000円、2000円、5000円、10000円の10種類で~す!」子ども達は実物を手に取って確かめます。「2000円があつたんだ。」子ども達は目を輝か



元気に参加する1・2年生

せて反応します。お金がなかった時代の話、お金の便利さ、お金の大切さ、お金を上手に使っていく考え方等々、低・中・高学年の3つに分けて3時間連続で、全校児童が楽しくわかりやすくお金の大切さや役割、必要性、効果的な使用の仕方などを学習しました。講師の先生は、肥後銀行の行員の方々です。支店長さんや御代志にできる新支店長さんも来校されました。全児童貴重な学習ができました。



1億円の束をもつ3年生

## 子ども達の成長

今年に入り半月が過ぎました。子ども達の「あいさつ」がよくなつたことや日々の授業での意欲的な態度など子ども達の「成長」を感じることが多々あります。給食の準備や食事の仕方、後片付けについてもです。しかし、給食当番でおかずをお玉を使ってこぼすことなく学級の人数と量を考えときれいにつぎ分ける子、それが難しくてこぼしてしまう子、正直様々です。また、箸や鉛筆の持ち方についてもです。箸の持ち方が違っていても食べることはできます。しかし、日本の箸という伝統を箸を使用しない文化の国の人々に教えることがあるかも知れません。また、もしも親になったとき、我が子に箸の持ち方を聞かれることがあるかも知れません。他にも、雑巾の絞り方やほうきの掃き方等々、いろいろな道具の使い方もあります。現代社会において使用しなくなり必要な技能も正直あります。私もできないことがありますたくさんありますが、周りの大人がよってたかって今の子ども達に身に付けるべきことを教えていくことは大切だと思っています。



給食の準備を丁寧に

10年前、私が教務主任で理科専科だったころ実験時にマッチを使うことがありました。簡単に安全につける子、怖がってつけることができない子、本当に様々でした。



箸の持ち方はどうかな?

その違いは何かというと「経験」です。もちろん今は生活でマッチを使うことは皆無です。多くの家庭で使用する製品は電気で動き、キッチンもIHが普及しています。掃除についても家庭では、掃除機・モップなどがあり、ほうきや雑巾を使うことはほとんどありません。学校が遅れていると言えばそうかも知れませんが、私は日本の古き良き伝統を身に付けていく子ども達を育むことは大切だと思っています。